

(有)ノバネットワークス

郡上市・訪問介護、通所介護事業

従業員数／男性1名 女性28名 計29名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①社内一時預かり・保育費用一部助成等の子育て支援制度の導入
- ②従業員の意見を吸い上げ、働きやすい職場づくりを推進
- ③ICTの活用により業務の効率化と仕事の分担を推進



2013年度に子育て・家族支援部門において内閣府特命担当大臣表彰に選ばれたノバネットワークス。

ノバネットワークスでは、すべての

事業部がフレックス制を導入してお

り、従業員が柔軟に勤務時間を選択できる。学童保育や保育所に子どもを預ける従業員には、保育費用の4分の1を援助するなど、子育てをしながら安心して働ける環境づくりを大切にしている。そうした社風もあって、従業員の定着率も

上昇傾向。定年75才制も導入し、長く働く職場を目指す。

訪問介護の仕事は、時に緊急の対応が求められることがある。そうした際にも、従業員同士で頻繁にコミュニケーションを取り合い、スマートなフォローを心掛けている。田中栄子社長は「子どもの体調不良や、自身に不幸があった際など、急なシフト変更にもみんな協力的で、本当に頭が下がる」と話す。

さらに、「部門ごと」で従業員による「経営品質見直し隊」を組織し、業務の効率化や労働時間の短縮を推進。アンケートによって従業員の意見を吸い上げ、会社の行動指針を見直すなど、経営品質と職場環境の改善に努める。

「個別に面談する機会も設けるようになっている」という田中社長は、仕事だけでなく個人的な悩みや子育てに関する相談にも積極的に対応。社内のイベント時には従業員の

気遣いフオローし合う社風に



「経営品質見直し隊」を組織して、業務の効率化や労働時間の短縮を推進する。

また、ICTの活用による業務の効率化・分担化にも取り組んでおり、パソコンとタブレットを増設し、業務分担をしやすいソフトに変更。時間を使効率的に使い、特定の人による業務負担がかからない体制を整えている。